



流氷とガリンコ号

～「邪魔者」から豊かな海のシンボルに～



冬のオホーツク沿岸に押し寄せる海の邪魔者を逆手に取った流氷観光。紋別市ではアラスカの油田開発用に試験的に作られた砕氷船を「ガリンコ号」と名付け、流氷の海へ乗り出した。沖合約500mのオホーツクタワーでは、海底7.5mから流氷観察や流氷下のさまざまな生態の観測ができる。流氷の神秘や流氷がもたらす恵みなど、その大切さを訴え、紋別市は流氷研究国際都市を宣言している。